

ガチン固透水型自然土舗装施工マニュアル

1, 概要

ガチン固は、環境を目的に開発された製品です。従って、従来から使われている透水型アスファルト舗装などとは全く異なるものです。

製品特性(完成体)としては、舗装面にすぐれた透水性がありますので、防草効果とともに植樹の保護育成や、泥濘化防止、水溜まり防止、照り返し軽減による温暖化抑制効果などの特徴があります。

特に、近年毎年のように発生している集中豪雨対策にも効果があり、透水型アスファルト舗装と違って、乳剤や油による地下水の汚染もなく環境にやさしい製品です。

2, 施工方法

2-1 下地の整正

① 施工場所の雑草や障害物をきれいに除去し、地面を平らに均します。
(雑草の根は出来るだけ取り除いて下さい。また、表面から突き出ている草などは、バーナーで焼ききってしまうほうが効果的です。)

② 全体を十分に転圧して平面を作り、下地の堅固さも確保します。
(平面に不陸がないように入念に仕上げて下さい。そのとき、完成時に水溜りができないよう、水勾配は必ずつけてください。)

※下地の完成時には、表面から草や根などの突起物は一切ないことを確認してください。異物があると、強度低下につながる恐れがあります。

③下地に水分がない場合は、タツプリと散水して、施工したガチン固の水分が下地に奪われないようにしてください。(前日に散水すると効果的です。)

2-2 練り合わせ、敷き均し

① 練り合わせ

ガチンコ砂とガチン固硬化剤をミキサーに投入・攪拌し、水を適量加えて練り合わせます。

投入量

- ・ガチン固砂 55 リットル
- ・ガチン固硬化剤 10 キロ
- ・水 約 4 リットル (混練後、手で握って固まる程度・手に付かない程度で、夏は冬場より多めに)

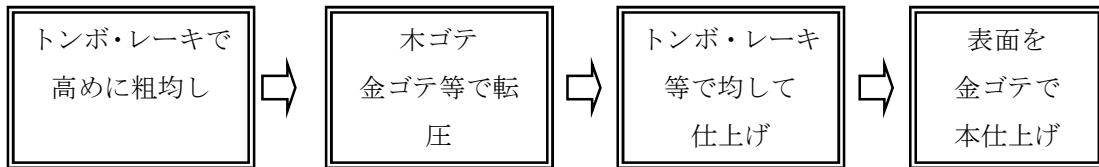
別紙写真参照





② 敷き均し

- (1) 下地の上に、水を撒く。(天候次第で、夏場は特に多めに散水する。)
- (2) 練り合わせたガチン固を下地の上に敷き均し、下記の順に仕上げてください。



2-3 防草目地

クラックの防止のために、3m～5m間隔・建屋の角などに伸縮目地材などを使用して下さい。



◆ガチン固はわずかながら伸縮性があります。舗装の打継部分や縁石などの境目に隙間がひらくことが予想されます。その場合前もって伸縮目地材などを使用していただくことをおすすめします。また、歩道や広場などの大きな面積を舗装する際には、一定間隔で縁切りを入れていただくとクラック防止などに効果を発揮いたします。

2-4 養生

養生期間については、夏場の高温環境下では2～3日間程度、冬場の低温環境下では、ゆっくりと硬化しますので7日間程度が必要です。舗装が完成し、十分な強度が出るまでには28日が必要です。施工場所や気温・風などで養生期間は変わりますので、施工後も注意が必要です。人が乗っても問題ない強度になるには、早ければ2～3日(暑い時期)となります。但し、底の平らな靴で静かに乗った場合ですので、重いものを載せたり、先の尖ったもので突いたりしないでください。

施工の留意事項

- ※路床・路盤は、軟弱でなく不陸がないこと。
- ※降雨時・積雪時、及び凍結時の場合は施工を避ける。
- ※完成後、2～3日は人の進入を避ける。
- ※養生シートは、天候等の状況にかかわらず数枚は準備しておく。

※樹木の周りの施工



※本施工に於いては、メーカーの技術指導者による施工技術の指導が必要となります。

適用範囲、条件

自然な土の景観を要求される場所で公園の園路、広場、遊歩道、庭園、神社の参道など、
また防草対策で、法面、分離帯、植樹帯など。

使用できない場所は、車道、軟弱な路床及び路盤の上

施工手順

フロー図

